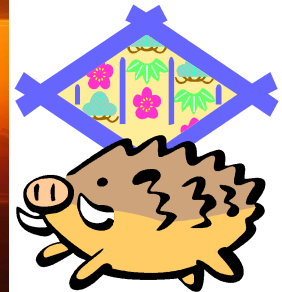




西風

あけまして
おめでとう
ございます



皆様におかれましては、健やかで和やかなお正月を迎えられたことと、お喜び申し上げます。旧年中は、本校の教育にご支援をご協力をいただき、誠にありがとうございました。本年も変わらぬご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

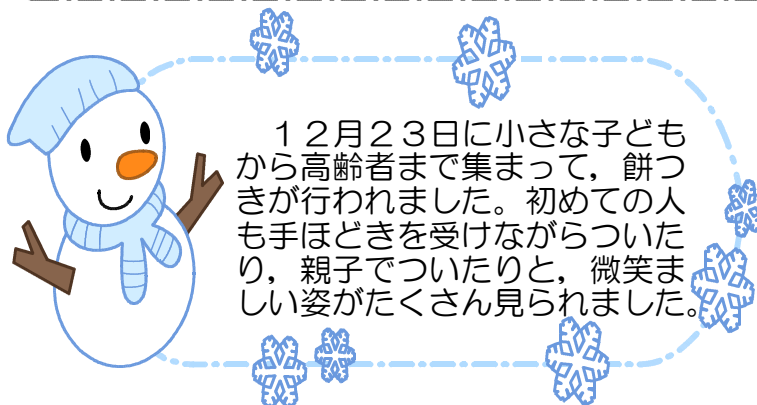
1月1日の元旦登山では、夜明け前に懐中電灯を片手にスタートし、新年の挨拶を交わしたり、子どもたちと冬休みの様子を話したりしながら、楽しく一步一步登って行きました。ちょっと疲れが見えてきた頃に到着し、たくさんの西部地区の方々と共に美しい初日の出を見ることができました。良い年になることを願っています。

さて、3学期がスタートしました。新しい1年の始まりには、誰もが明るい希望や夢を想いながら迎えます。元旦登山では、少年野球の皆さんが、恒例の決意表明を全力で行っていました。1年の大きな節目に、何か一つでも努力することを自分で考え、目標とすることは、とても大切です。

そこで、始業式では、次のような話をしました。

皆さんは、お正月に箱根駅伝を見ましたか。初優勝したのは、東海大学でした。そして、大会の最優秀選手は、8区を走って22年ぶりに区間新記録を出した小松陽平（3年）選手がとりました。小松選手は、3年生になって初めて大きな駅伝大会に出場し、こんなすごい記録を出しました。そんな力のある選手が、なぜ、今まで出ていなかったのでしょうか。小松選手は、10000mまでなら東海大学の中でも速い方だけど、もっと長い距離だと急にスタミナ切れを起こしていたそうです。だから20km以上走らないといけない箱根駅伝には出られなかったそうです。そこで、自分の苦手な長い距離も走られるように、自分の長所であるスピードを生かしながら、少しずつ距離を伸ばす練習をずっとしてきたそうです。そして、3年目によくやくつかんだチャンスを見事に生かしました。

みなさんも自分の良いところを伸ばしながら、苦手なことにもあきらめず、こつこつと努力する一年にしてほしいと思います。青山学院大学の原監督は、「できることの半歩先を目標に」と言っています。そのことが夢への一歩になるはずです。



12月23日に小さな子どもから高齢者まで集まって、餅つきが行われました。初めての人も手ほどきを受けながらついたり、親子でついたり、微笑ましい姿がたくさん見られました。

